

## 年齢別にみたがんの罹患 Age-Specific Cancer Incidence

2018年に新たに診断されたがんは、年齢別にみると約74%が65歳以上だった。一方、働き盛りの40-64歳においては男性では全体の約20%、女性では全体の約30%を占めている(図2)。

女性の15-64歳において、特に乳がんの罹患割合が高い。また、女性の15-64歳のがんが男性よりも多いのは、この年齢層の乳がんと子宮がんが多いためである(図3)。

主ながんの年齢階層別罹患率をみると、胃がんは男性60歳以上、女性70歳以上、結腸がんは男性60歳以上、女性65歳以上で、それぞれ千人に1人以上が罹患している。乳がんは、35-49歳で急激に増加し、70-74歳をピークに徐々に減少している。また、子宮がんは20-30歳代の若い世代において、特に上皮内がんの罹患が目立っている(図4)。

図2 年齢別内訳(%) (表2-Aから作成)

Figure 2 The Number and Percentage of Incident Cases of Cancer by age-group

年齢階層 Age group	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性 Males	76	388	5,408	9,935	12,883	28,690
女性 Females	66	744	6,052	5,420	8,525	20,807
総数 total	142	1,132	11,460	15,355	21,408	49,497

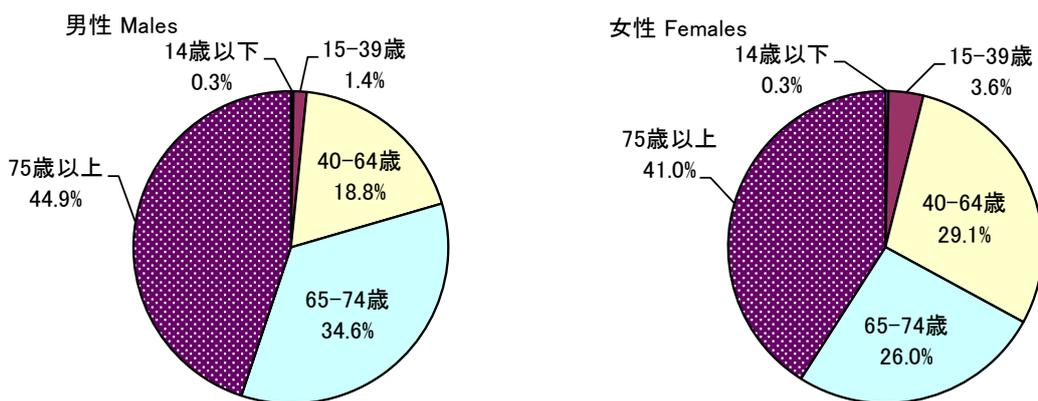
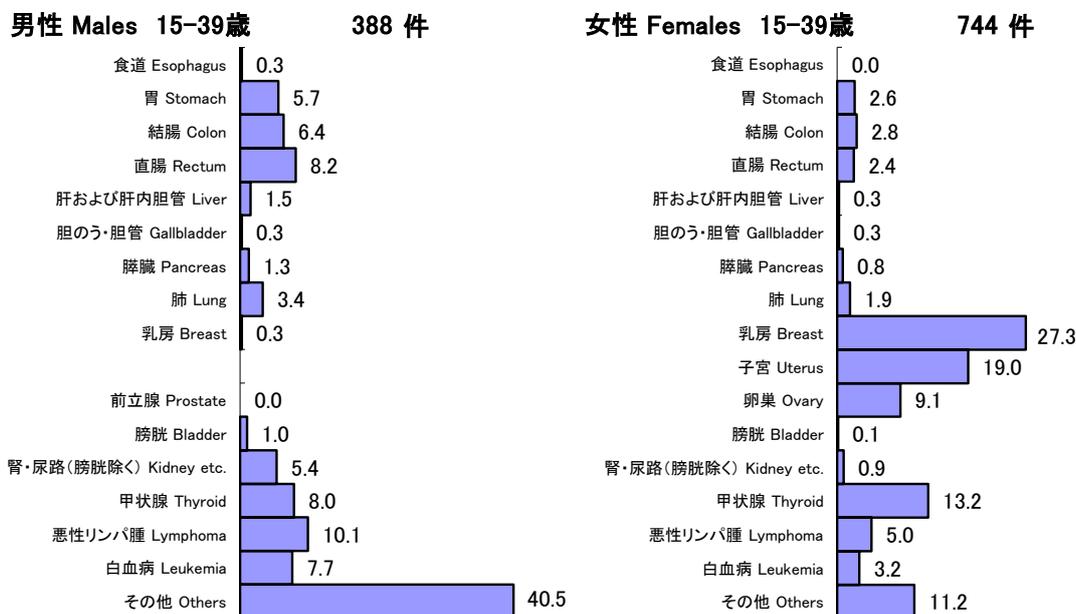
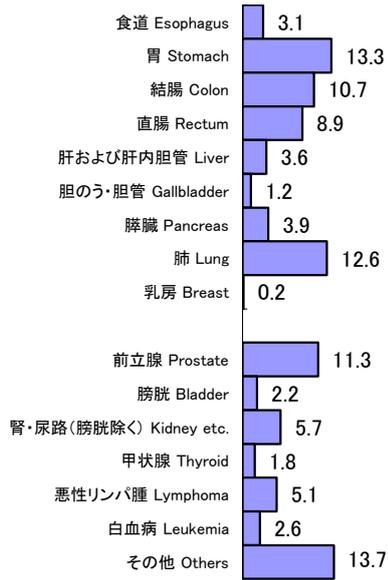


図3 年齢別部位内訳(%) (表2-Aから作成)

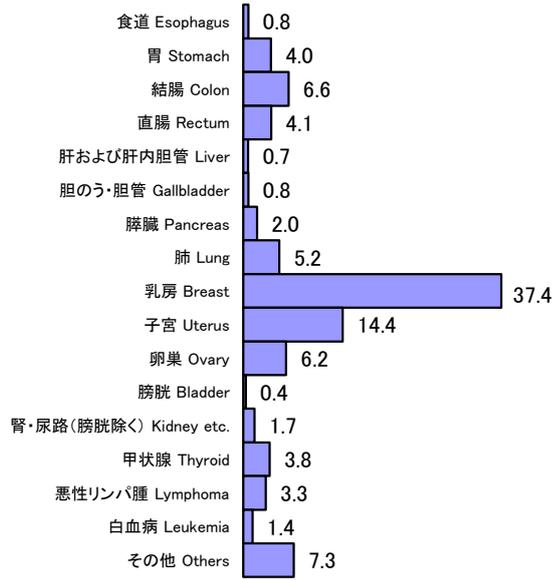
Figure 3 Percentage of Gender- and Age- Specific incidence by Cancer site



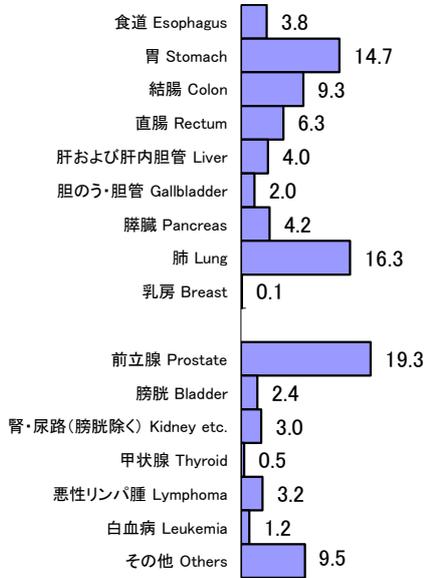
**男性 Males 40-64歳 5,408 件**



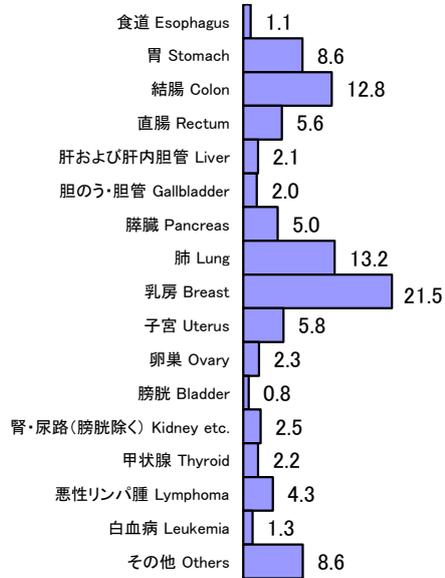
**女性 Females 40-64歳 6,052 件**



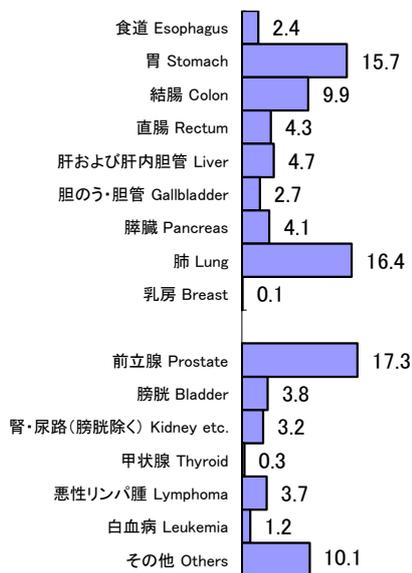
**男性 Males 65-74歳 9,935 件**



**女性 Females 65-74歳 5,420 件**



**男性 Males 75歳以上 12,883 件**



**女性 Females 75歳以上 8,525 件**

